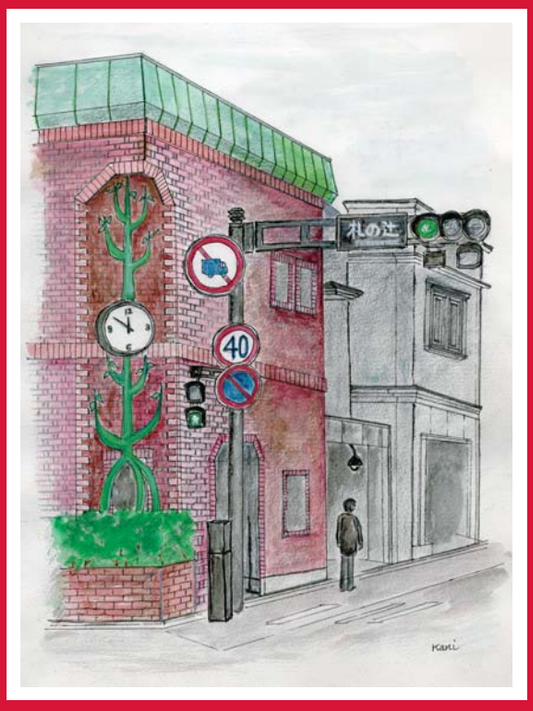
Rotary International District 2570

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

No.6 1st December 2011



ガバナー月信 12 No.06 2011年12月01日発行

『Smart Rotaryを探して』

～継続できるロータリークラブとは～

＋

『ガンバレ！日本のロータリークラブ』

国際ロータリー第2570地区
2011-2012年度ガバナー　立原雅夫

「Rotary Family」のマジック！

2011−12年度国際ロータリー第2570地区
ガバナー　立原　雅夫

１２月は家族月間です。本年度カルヤン・バネルジーＲＩ会長は、３つの強調事項の第１に、「強い家族を築くこと」とされました。「万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むすべての出発点は、家族にあります。そしてあらゆる家族の中心をなしているのが、母と子です。ここから始めてこそ人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をよりよくしていくことができるのです。」と述べておられます。

3.11「東日本大震災」が起きてしまいました。ご家族に被災された皆様には心より哀悼の意を表します。この災害を機に多くの方が、日本・世界で「家族」について多くを語り、また「家族の絆」の大切さを再確認したことと思います。

「ロータリーは家族です。」とよく言われます。バネルジー会長は本年度ガバナー達を「兄弟（My Brother)」と呼びます。やはり、世界の家族の一員なのです。私たちも国内はもちろんの事、世界大会や協議会などで多くのロータリアンに会えることができます。殆どの方が初対面でありますが、なぜか「ロータリークラブ」の輪の中では以前からの友人のように感じるのは、やはり「Rotary Family」の不思議なマジックでしょうか。

２０世紀初頭から始まったロータリーは、このＲ・マークが世界のブランドともいえるようになり、とても大きな組織となりました。そして今、次の１００年にむかって「未来の夢」をのせて新しいプログラムが発進されました。世界で「Rotary Family」の絆があれば、必ずその目的は達成できるものと思います。

国際ロータリー第2570地区
第２回会員増強セミナーの御礼

会員増強・クラブ拡大委員長　渋澤　健司（本庄）

このたび第２５７０地区第２回会員増強セミナーに、各クラブ会長・増強委員・会員・地区役員の皆様お忙しいところをご出席賜り、心より感謝申し上げます。

当日は多くの皆様の参加を頂き、第一部の基調講演を「ロータリーの存続と増強の意義」というテーマで､国際ロータリー２５７０地区研修リーダー加藤玄静パストガバナーに行って頂きました。本日のセミナーに間に合わせて編集・製本されました「２０１１～１２年度・会員増強セミナー資料」により増強セミナーの意義をふまえ、本質論のお話しを頂きました。

その後休憩を挟み、馬車道レストラン会場で「クラブ繁栄は増強にあり」というテーマでパネルディスカッションを行い､大変質の高い発表が「第１グループ～第５グループ」の代表者により行われました。会場全員参加で素晴らしいパネルディスカッションでした。

今後、第２回増強セミナーで研修した内容とセミナー資料を各クラブで「会員数の純増一名以上・維持率80％以上キープ」のお役に立てて頂ければと思います。

これからもクラブ奉仕部門メンバーは、各クラブの会員増強・クラブ拡大に一丸となり支援をさせて、頂きたいと考えております。増強月間は過ぎましたが、各クラブからの要望がございましたら増強に関しての卓話をさせて頂きたいと思います。お気軽にお声掛け下されば、訪問したいと思います。

素晴らしいロータリークラブに「Something Great あなたも一緒に行動しよう」と呼び掛けて、一人でも多くの人と共に歩んでゆきたいと思います。

増強セミナーに参加頂きました皆様に感謝申し上げ、御礼のご挨拶とさせて頂きます。

2011～2012年度　第2570地区
「米山記念奨学部門セミナー&カウンセラー会議」開催

米山記念奨学部門委員長　大澤　衞（和光）

第２回セミナー及びカウンセラー会議を、去る10月30日（日）嵐山「国立女性会館」に96名のロータリアン・奨学生を招いて13時30分から16時50分まで開催。

担当諮問委員梅沢パストガバナーの点鐘、ご挨拶。その後、今年度二度目の開催ということもあり多数のクラブ会長エレクトにもご参加を賜り、鈴木ガバナーエレクトのご挨拶にも熱がこもっておられるように感じられました。

今回は、ライラデーが12月４日東松山「紫雲閣」開催のこともあり、特別に野口新世代部門委員長・島田ライラ委員長他を迎え、米山記念奨学生５名の参加協力を依頼されました。

本会議では、2010年規定審議会でロータリーが変化を求められている中、50年以上かけて引き継がれてきた日本独自の国際奉仕事業。そして、多地区合同奉仕活動として、ＲＩの賞賛する（財）ロータリー米山記念奨学会を支援するために、クラブ会長・クラブ米山委員長さんを始め、ロータリアン全員のご協力とご支援をお願いいたしました。

分科会に移り、カウンセラー部門では、加藤地区研修リーダーから米山記念奨学会の現況報告を詳細にわたりご説明、資料を各クラブに配布していただきたいとのご意見もございました。一方、クラブ支援（ＣＹ）に対する難しさの声も聞かれ、米山月間卓話についてのご質問もあり、クラブにおける理解の温度差も感じられました。

奨学生部門に於いては、米山行事における説明不足などの意見が聞かれ、地区大会における役割分担、民族衣装の着用、並びに12月11日開催のクリスマス会担当者及び内容の検討が行われました。

坂本推進副委員長の閉会挨拶の後、加藤パストガバナーの点鐘により長時間のセミナーを終了いたしました。様々なご意見を参考に、委員会一同精進して参りますので、より一層のご協力ご支援をお願いいたします。

（第2570地区米山記念奨学部門委員会一同）

第2回諮問委員会 開催

去る10月5日（水）午前11時より今年度第２回諮問委員会が川越プリンスホテルに於いて開催されました。

主な諮問事項は「地区大会について」「地区事務所開設について」及び「東日本大震災にともなう義援金について」でした。

地区大会については資料に基づきガバナーから説明してご了承いただきました。

尚ＲＩ会長代理のエイドは梅澤定彦パストガバナーにお務めいただくことになりました。

「地区事務所開設について」は資料に基づき、鈴木ガバナーエレクトより説明があり、「地区事務所を開設し、こちらで地区事前事務を行う事とし、ガバナーが交代しても引き続きこの事務所で事務処理を行う事とし、ガバナーの地元では地区大会開催準備等の為、ガバナー事務所を開設したい」旨諮問し、ご了承いただきました。

「東日本大震災にともなう義援金について」はガバナーから説明が有り、若干の修正の答申をいただき、実施することとなりました。

これはガバナーより地区大会で内容の発表があります。

その他に確認事項等があり、午後１時終了いたしました。

第3グループフレッシュマン研修セミナー

開催日：2011年10月8日（土）13:20点鐘
場　所：智光山公園内　狭山市勤労福祉センター
内　容：クラブ奉仕について
　　職業奉仕について
　　社会奉仕について
　　ロータリー財団について

第4グループ入会3年以内会員研修セミナー

開催日：2011年10月22日（土）13:30点鐘
場　所：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
内　容：ロータリーの歴史
　　奉仕活動
　　米山記念奨学会
　　財団等の基礎的知識の習得

こころの中を見つめよう　博愛を広げるために

加須 ロータリークラブ

９月２１日（水）台風接近による大雨に負けず、立原ガバナー、鈴木ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問例会が盛大に開催されました。立原ガバナーの卓話は、ＲＩ会長方針、地区テーマ、次の１００年に向かうための３つの柱の３部構成からなり、会員一同ＲＣの現在、そして今後の方向性を大変わかりやすく認識できたと思っています。ＲＩ会長方針では、「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」というテーマのもとに「家族」「継続」「変化」の３つの強調事項があるとおっしゃいました。地区テーマ「Ｓｍａｒｔ　Ｒｏｔａｒｙを探して」の話題に続き、次の１００年に向かうための３つの柱とは、「超我の奉仕」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共のイメージと認識度の向上」であります。

本年度加須ＲＣは４０周年を迎えます。３月の未曾有の大震災は、我々ロータリアンに、「ロータリーの超我の奉仕とは何ぞや？」という質問をなげかけているのかもしれません。そして我々加須ＲＣは、その問いかけに対する回答を節目の年に、さまざまな事業を通じて模索しなければならないと思っています。今後も地域の人々から必要とされるＲＣとして、新たな一歩を歩んでいきたいと思っています。

本庄南 ロータリークラブ

立原ガバナー、本日はようこそ。会員数２２名という弱小クラブで、経済的にも苦しい運営状況の本庄南ロータリークラブですが、若手新会員の参加意識が高く、生き生きした感覚にあふれておりますので、それが立原ガバナーに伝われば幸いです。

さて、カルヤン・バネルジーＲＩ会長のテーマは「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」ですが、まず自分自身を見つめ直すことと提唱され、三つのキーワードとして「家族」「継続」「変化」を投げかけています。第一に、強い家族を築くこと、第二に、私たちが一番得意とすることを継続していくこと、最後に、変える必要があることは変えるということです。

立原雅夫ガバナーのテーマ「Ｓｍａｒｔ（賢い）Ｒｏｔａｒｙを探して」～継続できるロータリークラブとは～が、投げかける問いに対して私のテーマは決まりました。少々短絡的ではありますが、会員それぞれのクラブライフが楽しいものになることによって、ロータリーは継続し、また、そうするためにＳｍａｒｔ Ｒｏｔａｒｙを探求していかなければなりません。

賢いロータリーとは、と考えたとき、例会運営におけるコストと内容の濃さのバランスが高いレベルで実現できることが、重要な要素となるのではないでしょうか。費用をかけずに充実した例会ができるアイデアを持ち寄ることができれば、そこにＳｍａｒｔ Ｒｏｔａｒｙができるのです。

そこで、今年度の試みとして、例会の担当会員を決めさせていただき、その担当者のプログラムによって進行するという手法で進めていきます。年に２回程度の担当日がありますが、会員のみなさまがその日に向かって準備、相談することによって参加意識のもてるクラブにすることが目的であり、それにより楽しいクラブライフが実現すれば、継続につながり、口コミによる会員増強も期待できます。また、担当例会の内容に関しては、大目に見る心を前に出し、決して誹謗中傷はしないことを前提にしながら、みなさんの持てる知識を会員のみなさんと共有できるようにし、期待もしていくような感覚で運営をしていきます。また、例会担当者の評価を例会参加者で実施し、平均点を競い最終例会でベスト例会企画賞として表彰することまで考えましたが、そこまでやるのもどうかと思い、評価は止めることとしました。

それでは本日のクラブ協議会ご指導よろしくお願いいたします。

行田さくら ロータリークラブ

わがクラブでは、公式訪問に向けて会員の１００％出席を実現すべく、出席奨励委員長を先頭に準備してきました。１００％出席をもって立原ガバナーを歓迎いたしました。

この日、例会に先立ち、入会３年未満の会員との懇談会が行われ、ロータリーにどのようにかかわっていけばいいのか、経験を交えて意見交換がなされた。

例会での立原ガバナーの講話では、まず初めに４月のクラブ協議会の開催にあたって、それを準備した細井ガバナー補佐をはじめとした、わがクラブの会員に対して、労いの言葉を述べられた。そして、本題においては誕生してから１００年を経過したロータリーが、今大きな転換点を迎えていること、これからの１００年に向けてこれまでとは違う新たな方向性をもって、あるいは夢をもって歩み出さなければならないことが強調されました。

例会後、クラブ協議会に移り、各委員長の報告に対し丁寧な講評をいただき、長時間にわたり充実した内容の協議ができました。

協議会後のクラブの懇親会にもガバナーに参加いただきました。気さくにクラブ会員との交流をもっていただき、懇親を深めることができました。

岡部 ロータリークラブ

９月２８日（水）、いよいよ岡部の順番が来ました。毎年のことながら緊張の中、立原ガバナー、山田Ｇ補佐の訪問を頂き懇談と例会が始まりました。懇談中も立原ガバナーの人柄と、山田補佐の穏やかな雰囲気で、和やかな時間が過ぎて行きました。年度の４分の１が経過し、少しずつ今年らしさが現れる時期、同じ目線でロータリーの問題点を語り、目標を示してくれた様子は、まるで同じクラブの仲間の様でした。

ロータリーで結ばれた私たちですが、ロータリーだけでは無く、職業上、またはプライベートでも相談出来る仲間である事を再認識いたしました。例会場である割烹美ゆきのリーフレットを持ち帰るところなど、お茶目な姿は人間性の素晴らしさを感じさせるものでした。

協議会でのアドバイス、ご意見にしても、決して否定するものではなく、一緒に考え全てに応援したいとの姿勢には、２５７０地区を支えるに相応しいガバナーであり、共に歩いて行けるのだということを確信いたしました。

今度はプライベートで例会に遊びに来ていただきたいものです。アドバイス通り夜間例会に移行しますので。

皆野・長瀞 ロータリークラブ

９月２９日（木）ガバナー公式訪問が、養浩亭（例会場）にて予定通り行われました。

当日　午前１１時より、ガバナー、ガバナー補佐、会長、幹事による懇談会、そして11時30分より新入会員も参加して、なごやかに進みました。

例会では、皆会員が少し緊張の様子でしたが、スムーズに運び、ガバナーの卓話では細かいところにとらわれず、ロータリーの主体はクラブである、楽しく活動することが重要と言われました。

クラブ協議会では、委員全員の方針等発表が行われ、かなり時間をオーバーしましたが有意義な会合となりました。

所沢中央 ロータリークラブ

１０月３日（月）セレス所沢にて、立原ガバナー、井花ガバナー補佐、山口地区副幹事を迎えて、ガバナー公式訪問が行われました。１７時より会長、幹事との懇談では、当クラブの会員数は現在３８名ですが、発足時は４０名、多いときでも４０数名と、大きな変動がないとの話では、当クラブが夜間例会の強みと会員相互の信頼感と立原ガバナーは分析されました。また、本年は２０周年という節目に、製麺機を障害者施設に寄付し、障害者の自立支援、うどんの町所沢の町興しにつなげる社会奉仕事業をクラブとして永続的に支援することをお話しさせて頂きました。さらに、当クラブでは５年前より「足尾に緑を育てる会」の植樹支援を行っています。ガバナーには、こうした永続的な奉仕活動が大切であるとお褒めいただきました。

本年のクラブテーマが「明るく、笑顔で、元気よく」ということで活動させておりますが、立原ガバナーの「明るく、楽しく、美しい」ロータリークラブライフに通じて、嬉しく思いました。特に会員お奥様方に楽しんで頂ける移動例会を４回計画しています。これは、RI会長の年度の第一の強調事項「家族」に通じるものと自負しております。例会卓話では、国際ロータリー会長Ｋ・バネルジー氏の本年度テーマ「心の中を見つめよう、博愛を広げるために」を中心に、「ロータリーとは何か」について、また、未来のロータリー、長期計画等、未来の夢計画についてお話しをされました。

クラブ協議会では、会員より質問も出て、時間いっぱいまで活発に討議がなされ、立原ガバナーより率直なご意見を拝聴させて頂きました。本当に、有意義なガバナー公式訪問の夕べでありました。厚く御礼申し上げます。

■ガバナー公式訪問

児玉 ロータリークラブ

会員全員が集合し、緊張感の中、立原ガバナーと山田ガバナー補佐を迎え例会が始まりました。

例会では、立原ガバナーの卓話をはじめ、各委員会の報告がありました。児玉クラブでは会員の減少が最大のテーマで、運営が厳しい状況が続いております。例会終了後にガバナーを囲んでの夕食会が行われました。その中で、ガバナーのご苦労も少し理解しました。

経済状況が厳しい中でのロータリー活動は、転換期を迎えていると思います。今後は、会員同士のコミュニケーションを大切にし、ロータリー活動を続けていきたいと思います。

熊谷南 ロータリークラブ

１０月５日（水）は記念すべき日となりました。立原ガバナー、鈴木ガバナー補佐、笛木副幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問は、午後５時からの懇談会に始まり、公式訪問例会、クラブ協議会と続き、８時４０分に熱気に包まれたまま終了致しました。又、終了後の懇親会までお付き合い頂きさらに会員達と親睦を深めて頂きました。長丁場の一日でしたが、立原ガバナーは終始威風堂々としておられ、それでいて、とかく難しく考えがちなロータリーの奉仕活動をご自身の体験を踏まえた大変分かりやすい言葉でご指導頂きました。又、鈴木ガバナー補佐にも大変暖かい講評を頂き、次年度はガバナーとして続けてご指導頂けますのは心強い限りです。会員達もこの大切な日を迎えるにあたり、準備を怠らず気持ちを集中して望んでくれて、充実した時間をご来訪の皆様と共有することができました。参加した皆様全員に会長として心より感謝申し上げます。

行田 ロータリークラブ

１０月６日（木）行田市内「アイトピア」会場にて立原ガバナーをお迎えし、ガバナー訪問例会が行われました。１１時より新入会員との懇談食事会を行い、１２時３０分より立原ガバナーの卓話を頂く例会になりました。今のロータリーの課題は「長期計画はクラブが存続するためにはぜひ必要」と言われました。単年度制のロータリーの為のことです。今後長期的な視野に立ち運営が必要とのことです。

午後１時３０分からは、各委員会委員長によりますクラブ協議会がおこなわれました。当クラブでは委員会が３５委員会有りガバナーもびっくりしていました。これは武田会長の方針により「一人一役」と言うことで設置されました。国内のロータリークラブの組織の簡素化とは逆行しますが、これも一つの手段であると考えます。会員一人一人が責任を持ってロータリー活動を行っていくその場を設けることも今年度スタッフの仕事ではないかと思われます。ともあれガバナーもほんとにお疲れ様でした。延々５時間に渡り頑張って頂き有り難うございました。

富士見 ロータリークラブ

１０月７日（金）、富士見ＲＣの最大イベント、立原ガバナー公式訪問がありました。今年度は第２５７０地区、立原　雅夫ガバナーと、当クラブの会員でもある、坂本　元彦ガバナー補佐にご指導を賜わりました。

早朝から、新会員との懇談会をして頂きました。例会では立原ガバナーの卓話を頂き、『カルヤン・バネルジーＲＩ会長の「心の中を見つめよう、博愛を広げる為に」提唱し、３強調事項（家族、継続、変化）』をガバナーご自身も強く強調されていました。又、3／11の東北大震災、原発の問題にいらだちを感じているようでした。

これからの１００年に向かってＲＣは大いに語り、「Doing Good in the World」世界で良い事をしよう。現在、これがロータリーの世界の合言葉になっているそうです。又、ガバナーは今年は「明るく・楽しく・美しく」地区の運営をしていきたいという事にクラブ全員同感致しました。

立原ガバナーと坂本ガバナー補佐の講評を頂き、長い時間大変有難うございました。

日高 ロータリークラブ

会員全員　１００％出席

埼玉県下に有名になりました９月後半よりの巾着田の彼岸花の見頃も公式訪問の１０月１１日（火）はピークが過ぎましたが見物客の車の渋滞に少し影響を受けたようですが、会長幹事以下３年未満の会員全員で例会場の日高商工会館の玄関でお出迎えを致しました。

日高ＲＣの会員全員出席率１００％で公式訪問の例会を行われましたことは、当日の秋晴れと同じで大変思い出に残る公式訪問でした。

川越西 ロータリークラブ

すがすがしい秋晴れの１０月１２日（水）、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

午前１１時から立原雅夫ガバナー、馬場弘第一グループガバナー補佐を迎え、会長、幹事、会長エレクトを交え懇談会が開かれ、同じ川越であり、知り合いであることもあって、ロータリーの諸問題について、また当クラブの直面する課題について終始なごやかなうちにも適切なアドバイスをいただきました。

例会には一川宏也地区大会実行委員長、坂口博地区副幹事も出席され、一川実行委員長から地区大会案内と協力要請がありました。

立原ガバナーの卓話では今年度ＲＩのシンボルマーク、ＲＩ会長のテーマにつて解説がなされ、ＲＩの長期計画、ロータリー財団の「未来の夢計画」などロータリーのこれからの変革について解り易く話されました。次いでガバナーのテーマ「Ｓmart　Ｒotaryを探して」に至った経緯について熱く語られ、地区の現状など大変内容の濃い卓話でした。

次いでクラブ協議会が開かれました。野原正次郎クラブ奉仕部門委員長、井上誠一郎奉仕プロジェクト部門委員長から各担当部門の現状と問題について発表が行われ、宮根健治クラブ研修リーダー、後藤知生社会奉仕委員長から追加発言がありました。

当クラブは会員減少が著しく、クラブ組織構成、運営にも支障をきたしている状況ですが、馬場ガバナー補佐、立原ガバナーから例会のあり方、増強のノウハウについてなど懇切な講評を受け、今年度当クラブのテーマ「２年で５名増強しよう」を実現出来るよう会員一同努力する所存です。

■地区幹事リポート

地区大会速報

地区幹事　小谷野和博（川越）

ロータリーとは「人材の宝庫」であると実感した２日間でした。感性溢れる少々？わがままな立原ガバナーの発想力による大会構成。それを映像に具現化し舞台に大画面を出現させた本庄の金井さん、そして多くの地区役員の皆さん、ありがとうございました。そして何よりも、関谷地区大会委員長以下川越ロータリークラブの実行委員会の皆さん、本当にお疲れ様でした。皆さんの情熱の結集が会場を一つにしました。地区大会が無事終了いたしましたこと、今一度皆様に御礼申し上げます。ホッ・・・・。一川さん「小鯛の笹漬け」おいしかったよ。そしてランチのミカンの味も甘酸っぱくて・・・。

文庫通信（290号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

ガバナーマンスリーから

◎「RI テーマの解釈」…… 田村泰三 ……〔2011〕 1p
（D.2710 月信）
◎「東西ロータリーの温度差」…… 久野　薫 ……〔2011〕 5p
（D.2680 月信）
◎「あなたの背中で会員増強を」…… 久野　薫 ……〔2011〕 4p
（D.2680 月信）
◎「会員増強について－急がば回れ」…… 上野　操 ……〔2011〕 1p
（D.2580 月信）
◎「会員増強および拡大月間にちなんで」…… 模　泰吉 ……〔2011〕 1p
（D.2680 月信）
◎「次の時代を担う若手会員の増強とベテラン会員に敬意を」…… 松田健一 ……〔2011〕 1p
（D.2600 月信）
◎「クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) について」…… 小林完治 ……〔2011〕 1p
（D.2690 月信）
◎「規定審議会 (CL) について」…… 服部芳樹 ……〔2011〕 3p
（D.2630 月信）

［上記申込先：ロータリー文庫 ］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506　　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

表紙の絵の紹介

～ガバナー月信12月号表紙～

「札の辻について」

札の辻は、城下町の中心街として高札が立てられたところです。川越の基本的な町割りは1638年（寛永15年）の大火の後に、日光の杉並木で有名な松平伊豆守信綱によるものとされています。城の西大手門の前方にあり、ここから北を喜多町、南を南町としました。外的に備え道路は丁字路や屈曲しているところばかりで、ここだけが交差点で、江戸時代より商業の中心地として賑わっていました。

可児 一男（川越）

「クラブの話題」お知らせください！

各クラブの活動に関する記事や話題を、400字程度の原稿と写真で、月信編集部までお寄せください。
ホットなニュースをお待ち申しあげております。

お詫びと訂正

先月号の12月のスケジュールで17日（土）熊谷RC 創立35周年記念式典と記載されていますが、正しくは熊谷東RC 創立35周年記念式典です。お詫びして訂正申し上げます。

国際ロータリー第2570地区 出席率・会員数報告 10月

クラブ名		例会数	出席率（%）		会員数（人）					
			10月	通算	年初	10月末	10月入会	10月退会	本年度純増	女性会員
第1グループ	川越	4	82.82	85.77	77	78	0	1	1	0
	東松山	4	74.52	70.52	36	36	0	0	0	1
	小川	4	77.27	80.58	11	12	0	0	1	1
	坂戸	4	79.17	78.83	26	27	0	0	1	0
	越生毛呂	4	62.10	68.45	28	27	0	0	-1	3
	川越小江戸	4	97.50	95.22	16	16	0	0	0	0
	川越西	4	82.69	81.21	13	13	0	0	0	0
	鶴ヶ島	4	90.00	82.50	24	25	0	0	1	2
	川越中央	3	80.61	85.61	32	33	0	0	1	0
	坂戸さつき	4	59.52	76.25	20	21	0	0	1	5
	東松山むさし	3	87.00	85.80	35	36	0	0	1	4
第2グループ	朝霞	4	100.00	100.00	35	35	0	0	0	0
	ふじみ野	4	85.64	85.30	15	15	0	0	0	0
	志木	4	93.22	94.23	50	51	0	0	1	0
	富士見	4	86.70	87.60	47	48	0	0	1	0
	新座	3	87.87	90.19	26	26	0	0	0	2
	和光	4	90.86	87.11	21	21	0	0	0	2
	朝霞キャロット	4	90.39	92.95	13	13	0	0	0	0
	志木柳瀬川	5	95.80	94.10	10	13	2	0	3	4
	新座こぶし	4	95.31	91.80	16	16	0	0	0	3
第3グループ	入間	4	84.70	84.64	42	42	0	0	0	1
	所沢	4	80.44	83.49	60	58	0	1	-2	4
	飯能	4	88.50	90.87	55	54	0	1	-1	0
	狭山	4	100.00	100.00	17	18	1	0	1	1
	新所沢	4	86.05	84.43	21	21	0	0	0	1
	日高	4	90.47	80.85	26	26	0	0	0	3
	所沢西	4	82.20	87.45	39	38	0	0	-1	1
	新狭山	4	84.77	88.58	24	26	0	0	2	0
	所沢東	4	92.27	88.99	38	38	0	0	0	3
	入間南	3	85.00	85.50	34	34	0	0	0	0
	所沢中央	4	92.50	95.95	37	38	0	0	1	0
	狭山中央	3	88.66	86.00	31	30	0	0	-1	5
第4グループ	深谷	4	76.96	80.66	56	57	0	0	1	8
	本庄	4	84.35	84.05	69	76	0	0	7	7
	秩父	4	76.80	78.88	51	50	0	1	-1	0
	寄居	4	80.88	78.23	34	34	0	0	0	0
	児玉	4	65.00	72.62	11	10	0	0	-1	0
	岡部	3	87.50	80.13	19	19	0	0	0	2
	深谷東	4	69.70	69.56	72	73	0	0	1	0
	川本	4	87.00	91.75	12	10	0	1	-2	0
	皆野・長瀞	3	88.10	87.65	14	14	0	0	0	2
	本庄南	4	73.00	73.76	22	22	0	0	0	0
	深谷ノース	4	90.62	79.48	29	32	1	0	3	0
第5グループ	熊谷	4	58.14	68.10	88	92	0	0	4	3
	行田	4	76.20	78.50	54	56	0	0	2	3
	羽生	4	85.00	83.21	37	41	1	0	4	2
	加須	4	83.96	84.04	38	39	0	0	1	1
	熊谷西	4	81.00	76.63	21	21	0	0	0	0
	行田さくら	4	72.78	76.59	40	41	0	0	1	0
	熊谷東	4	96.77	96.77	29	31	0	0	2	2
	吹上	4	95.80	93.70	12	12	0	0	0	0
	熊谷籠原	4	86.60	88.98	27	28	0	0	1	0
	熊谷南	4	60.20	63.78	27	27	0	0	0	1
合計(または平均)		／	83.75	84.25	1737	1770	5	4	33	77

12月・1月のスケジュール

12月		
3	土	Ｒ財団第２回オリエンテーション（オルモ）
4	日	ライラデー（紫雲閣）
6	火	広報・記録委員会（紫雲閣）
11	日	青少年交換クリスマス会（埼玉グランドホテル深谷） 米山記念奨学会クリスマス会（川越東武ホテル）
12	月	ＲＬＩ準備会（紫雲閣）
15	木	諮問委員会、ガバナーエレクト壮行会（川越プリンスホテル）
17	土	熊谷東RC３５周年記念式典（ベルヴィアイトピア）

1月		
6	金	青少年交換ウィンターキャンプ
7	土	↓
14	土	次年度米山奨学生面接（国立女性教育会館）
15	日	↓
19	木	所沢RC５０周年（パークハイアット東京）
21	土	広報・記録委員会セミナー
26	木	諮問委員会・ガバナーエレクト帰国報告会（紫雲閣）

ロータリー川柳

何になる 孫の答えは ロータリアン
水村　圭司（川越）

例会日 気の合ふ友と 刻忘れ（ときわす）
石川　伸一（入間南）

歯車は 私の勲章 吾が心
小川　勇美（小川）

友は宝 宝の山が ロータリー
高橋　福八（本庄）

心から 奉仕に励む ロータリアン
関　靖子（新座）

妻が問う 家族例会 次はいつ
稲葉　富司（秩父）

わが子より 出来がよいかな 奨学生
山田　忠正（新座こぶし）

週一の 人生勉強 ご飯付き
井上　真弓（行田）

気がつけば 心の安らぎ 例会日
雨間　保弘（飯能）

出席は 己れの糧の ロータリー
倉持成一郎（行田さくら）

国際ロータリー第2570地区　2011-2012年度ガバナー　立原雅夫

ガバナー事務所　〒350-1123　埼玉県川越市脇田本町11-27-2F
TEL 049-293-6522　E-mail: info2011@mail.rid2570.gr.jp
FAX 049-293-6523　URL: http://www.rid2570.gr.jp/2011/